



いずみ野

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/izumino/>



「分かった」「できた」「表現できた」

～ ひとみ 輝く いずみ野の子 ～

校長 齋藤 敦子

夕暮れ時、いずみ野駅前を歩いていると子どもたちや保護者の方々にお会いします。買い物や習い事の帰り等で足早に帰宅の途についている風景で挨拶を交わします。ちょっと立ち止まって、コミュニケーションを楽しむ時間もあります。卒業したばかりの中学生は、「勉強は難しいけど楽しい！」と笑顔を見せてくれます。ある保護者の方は、お子さんのことを次のようにおっしゃっていました。「きらきらでの国語が分かりやすくて、他のことにもやる気がでてきているんです！」このことは子どもにとっても教員にとっても、この上ない励みです。今年度は、特別支援教育に重点を置き、算数科を通して3年生以上は少人数（2学級を3つに分けて）の授業を取り入れ、1・2年生もきらきら（国語と算数の取出し授業）を選択して、一人ひとりに最適な学びを充実させていきます。

また、授業のユニバーサル化（どの子も分かる授業）を目指して、集中して学習に取り組める教室環境づくりに取り組んでいます。今後は阿久和小学校との合同授業研究会で5回の交流を通して、互いの子どもたちのよさを知ること、いずみ野中学校ブロック（阿久和小、新橋小、いずみ野小）では小中交流で9年間を通して育てたい子ども像を共有しています。そうすることで、統合後も子どもたちが安心して学習に集中できるよう、準備をしているところです。



子どもたちが様々な活動や体験を通して、「分かった」「できた」「表現できた」その瞬間にひとみが輝き、やる気と自信が湧いてきます。このような場面が少しでも増えていくよう、教員はよき『伴走者』でありたいものです。

5月20日（金）、地域連携協働活動MS I（Multi Support IZUMINO）の総会が開催されました。ご多用の中、6名の地域コーディネーターの皆様を核にご参会いただきまして、誠にありがとうございました。昨年度の発展的改称以来、組織体制が改善され、子どもたちの幸せを目指していくことを改めて確認することができました。

6月4日（土）には、自主事業サポーターズ（おやじの会）の皆様、田んぼでGOの皆様方を中心に、「田んぼであそぼう」が開催される予定です。代掻き前のごみ拾いを兼ねての活動に心より感謝申し上げます。また、前日から収穫前までの水管理も担ってください、大変助かっております。



田んぼであそぼう（昨年度）

学校はさらに保護者、地域の皆様、いずみ野中・阿久和小・新橋小との連携を深め、「子どもたちを第一に 笑顔あふれる学校」～子どもたちも幸せ、大人も幸せ～を目指して教職員一同努めてまいります。